

2023年5月例会報告

芝山「埴輪の里」を訪ねて

5月19日、小雨模様。東金自動車道を芝山へ向けて出発。

埴輪が立ち並ぶ「埴輪の街道」を歩き「姫塚・殿塚」を目指しました。「姫塚・殿塚」は芝山古墳群の中の一つ。街道から細い道に入りしばらく歩くと2基の前方後円墳が目に入ります。大きい古墳が「殿塚」小さい古墳が「姫塚」です。解説によると

『殿塚・姫塚古墳は、芝山古墳群に含まれ太平洋にそそぐ木戸川上流左岸の台地上に位置しています。前方後円墳4基、円墳13基で構成されています。古墳群には、盟主的規模を示す殿塚古墳・ほぼ完全な状態で発見された姫塚古墳が含まれます。6世紀末から7世紀の初頭に設営された二つの前方後円墳です。殿塚は、長さ88m、高さ13mで二重の円溝をもち、後円部南側に位置しています。姫塚は、長さ58.5m、高さ6mで石室は横穴式で前方側面南側に位置しています。』

と記されています。実際に歩いて登り高さ大きさを実感しました。



その後芝山運動公園を散策し「芝山埴輪博物館」で埴輪の学習、最後に芝山不動尊を参拝。

埴輪の実物、古墳の実物を目の当たりにして古墳時代の生活を実感することができました。実物に触れることが大切だと気が付いたウォーキングでした。（日野正生・記）